学校番号	３２４

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2	年次	2
使用教科書	「家庭総合」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、自らの家庭生活を振り返り、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な課題を実習やグループワークを通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。

・実習を通して、調理・被服の技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、豊かな生活をめざします。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者とのかかわりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ，家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	主に衣生活、食生活住生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	衣生活・食生活・住生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	衣生活・食生活・住生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	衣生活・食生活・住生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 プリントの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントの記述 製作品 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 5月 6月 7月	衣生活をつくる	1. 被服の役割を考える 2. 被服を入手する 3. 被服を作る ＊被服実習 (エプロン制作) 4. 被服を管理する 5. 衣生活の文化と知恵 6. これからの衣生活	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a. 衣生活に関心を持ち、人間と被服、気候と被服のかかわり、衣生活の文化や持続可能な衣生活について考えようとしている。 a. 被服材料、被服構成、縫製技術に関心を持ち、被服製作に取り組もうとしている。 b. 各ステージに適した衣服の役割、適切な着装、衣生活の管理、環境の関わりなどについて考え、工夫している。 b. 被服材料の性能改善と着心地、安全に配慮した被服、衣生活の文化の伝承について考え、まとめたり発表したりしている。 c. 生涯と通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身につけている。 d. 着装、被服材料、被服構成、被服製作、被服管理などについて科学的に理解し、持続可能な衣生活の必要性や現代の衣生活の課題を認識し、その知識を身につけている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 実習レポート 製作物 定期考査
		1学期末考査						定期考査
8月		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊自由テーマ 調査研究、個人発表	○	○		○	a. ホームプロジェクトに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組んでいる。 b. 生活上の課題を見いだし、その解決を目指して科学的に探求し、まとめたり、発表したりしている。 d. ホームプロジェクトの実践に必要な知識を見つけている。	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価

9 月 10 月	住生活をつくる	○ホームプロジェクトの発表 1. 住生活について考える 2. 住生活の計画と選択 ＊住宅広告を読み取る 3. 住生活の文化 4. これからの住生活	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○夏休みの宿題を発表する。 a. 住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b. 住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決を目ざして考え、適切に判断し表現している。 c. 健康や安全に配慮した室内整備や住環境について情報を収集、整理し、検討することができる。 d. 住居の機能、住空間の計画、住環境など、安全で快適な住まいについて科学的に理解している。	レポート 発表 自己評価 相互評価 授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 定期考査
11 月 12 月	食生活をつくる	1.食生活について考える ＊食事バランスガイドで自分の食生活を見直す 2.食事と栄養・食品 ＊炭水化物、タンパク質を取り出して確認しよう	○ ○	○ ○		○ ○	a. 自分や家族の食生活、地域の食文化に関心を持ち、食生活と健康の関わりを考え、意欲的に食生活の改善・向上に努めようとしている。 b. 現代の食生活と食事の意義、栄養と健康な食生活の関わりについて考えている。 c. 主体的に食生活を営むために必要な情報を収集・整理し、検討することができる。 d. 栄養、食品、調理及び食品衛生など、食事と健康の関わりについて、科学的に理解している。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 実習ﾚﾎﾟｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 定期考査
		2 学期末考査						定期考査
1 月 2 月 3 月		3.食生活の安全と衛生 4.生涯の健康を見通した食事計画 5.調理の基礎 ＊調理実習①②③④ 6.食生活と文化 7.これからの食生活	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a. 調理実習や実験などに、科学的な視点から、積極的に取り組もうとしている。また、食生活の安全と環境について考えようとしている。 b. 食品の購入から廃棄、環境との関わりなど、持続可能な食生活ににについて考え、工夫している。 c. 調理に関する基礎的、基本的な技術を身につけている。 d. 食生活の自立に必要な知識を身につけ、現代の食生活の課題、食文化、食品の安全性と環境についての課題を認識し、その知識を身につけている。	
		学年末考査						定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。